

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	総合演習Ⅰ		
担当者(Instructors)	大勝 志津穂	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

<b>■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)</b>			
本演習では、社会問題について「調べる」「まとめる」「発表する」ことができるようになることを目指す。多くの報告書やレポートに触れることにより、まとめ方や書き方を習得し、わかりやすい文章を書けるようになることを目指す。			

<b>■ 授業形態・授業の方法 (Class form)</b>	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	対面授業においてグループによる発表やディスカッションを行う。

<b>■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)</b>			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	この授業の進め方の確認 学生同士のコミュニケーションづくり	<input type="checkbox"/>
第2回	レジュメの書き方について	自分の考えをまとめ発表資料としてのレジュメの書き方を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第3回	ワークショップのあり方について	ワークショップの目的、方法を理解する。 ワークショップでの役割とディスカッションの方法について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第4回	差別と平等について	差別と平等の考え方を知る。	<input type="checkbox"/>
第5回	ワークショップ①-1 徒競走のスタートライン	徒競走におけるスタートラインのあり方について、現在の状況から問題はないかを考える。	<input type="checkbox"/>
第6回	ワークショップ①-2 徒競走のスタートライン	徒競走におけるスタートラインのあり方から平等を考え、ディスカッションを行う。	<input type="checkbox"/>
第7回	ワークショップ②-1 運動会の昼食	運動会での昼食のあり方について、問題はないかを考える。	<input type="checkbox"/>
第8回	ワークショップ②-2 運動会の昼食	運動会での昼食のあり方から差別と平等を考え、ディスカッションを行う。	<input type="checkbox"/>
第9回	ワークショップ③-1 「ちがいは何のためにあるのか？」	社会の中にある「ちがいを考える。	<input type="checkbox"/>
第10回	ワークショップ③-2 「ちがいは何のためにあるのか？」	社会の中にある「ちがい」について、なぜそれが存在するのかをディスカッションを行いながら考える。	<input type="checkbox"/>
第11回	ワークショップ④-1 差別は「する」もの？	社会の中で、どのような差別があるのかを考える。	<input type="checkbox"/>
第12回	ワークショップ④-2 差別は「する」もの？	社会の中での差別は「する」ものなのか？意図的、無意識の差別について考える。	<input type="checkbox"/>
第13回	ワークショップ⑤-1 差別と排除	差別が排除に変わる状況を考える	<input type="checkbox"/>
第14回	ワークショップ⑤-2 差別と排除	包摂社会のあり方を考える	<input type="checkbox"/>
第15回	映画から差別を考える	平等・差別・社会的包摂をテーマにした映画を見て考える。	<input type="checkbox"/>

<b>■ 授業時間外学習（予習・復習）の内容 (Preparation/review details)</b>	
事前・事後に参考図書を読み見識を深める（毎週2時間程度） 新聞やTV、インターネットの情報に関心を持ち、何がニュースの本質なのかを考えること（毎週1時間程度） 発表資料の作成（毎週2時間程度）	

<b>■ 課題とフィードバックの方法 (Assignments/feedback)</b>	
毎時間のディスカッション、発表資料を全員で共有する。	

■授業の到達目標と評価基準 (Course goals)		
区分 (Division)	DP区分 (DP division)	内容 (DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	社会や文化に関連する幅広い知識を習得し、それを活用することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	基礎学力や自ら調べた専門的知識と自らの経験をもとに創造的に考え、何が問題なのかを的確に判断することができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	ワークショップを通じて多様な人々の意見を聞く中で自己の考えや自己のあり方を理解し、主体的に他者と協同して問題に取り組むことができる。

■成績評価 (Evaluation method)				
筆記試験 (Written exam)	実技試験 (Practical exam)	レポート試験 (Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他 (Other)
			100%	
<b>授業内試験等 (具体的内容) (Specific contents)</b> 平常評価：レジュメの完成度とディスカッションへの関与度、ドッジボール大会企画・運営への関与度				

■テキスト (Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など (Text name)	ISBN (ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書 (references books)		
No. (No.)	テキスト名など (Text name)	ISBN (ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		